

「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-ア	観光リゾート産業の振興		
施策	①島々の個性や魅力を生かした着地型観光プログラム等の開発			
主な取組	宮古広域公園整備事業	実施計画 記載頁	303	
対応する 主な課題	離島観光の国際化や多様化する観光ニーズに対応するためには、離島の魅力ある資源を生かした観光プログラムの創出、国内外における離島の認知度向上、新たな旅行市場の開拓等の課題に適切に対応する必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	伊良部大橋の供用開始後に一体的となる宮古圏域に対して、観光振興と定住環境向上に寄与する広域的なレクリエーションの場として、宮古広域公園を整備する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	基本構想策定		基本計画、環境アセス、用地補償、整備			→	県 宮古島市
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
地域活力基盤創造交付金事業(都市計画)	30,000	17,514	宮古圏域における観光の周遊性を高める機能、観光拠点の可能性、地域特性の活用方法など、地元のアンケート調査、関係機関へのヒアリングなどの基礎調査を実施。【各省計上】	再掲 1-(3)-735項 1-(3)-741項 3-(2)-7174項
活動指標名			計画値	実績値
—			—	—
—			—	—
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	基本構想策定に向けた基礎調査の取りまとめ。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
宮古広域公園基本計画等検討調査	8,072	宮古圏域における新たな県営公園の整備に係る基本構想の策定。【県単等】	—

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成24年度に引き続き、事業推進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
-	-	-	-	-	-
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
都市計画区域内緑地面積	-	-	65,155ha (18年度)	-	-
状況説明	都市計画区域内の緑地面積においては、様々な開発等により減少傾向にあるため、公園整備等により緑地面積を確保し、全体として現状維持を目標としている。平成24年度は基礎的な調査のため、直接成果指標への反映はないが、この調査を踏まえ、公園整備に向けた公園計画等を検討する予定である。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

○宮古圏域において広域的レクリエーション機能を有した県営公園の整備が求められている
○県は海をテーマとした広域公園を掲げており、地元が要望している公園計画とのすり合わせが課題
○地元の意見を汲み入れることや既存の公園の状況を考慮するため宮古島市との連携が重要

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

○宮古圏域における公園の需要(生活面・観光面など)を把握する必要がある。
○県と宮古島市との役割分担及び連携を強化する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

○公園整備の必要性について観光面だけでなく、地元住民が利用できるよう配慮した計画とすること
○県と宮古島市との役割分担を明確にし、検討委員会等により情報共有及び意見交換を重ねることで連携を強化すること